

# 脂質代謝改善薬で導入後、 低脂肪食で維持している 高脂血症のミニチュア・シュナウザーの 2症例

○宮本 光葉, 和泉 紫津洋, 宮本 三郎,  
岩崎 遼太, 山本 拓也, 荒井 延明, 安田 英巳

安田獣医科医院

# 高脂血症

## ■原発性

- ミニチュアシュナウザー  
高中性脂肪血症
- シェットランドシープドッグ  
高コレステロール血症

## ■二次性(続発性)

- 糖尿病
- 甲状腺機能低下症
- 副腎皮質機能亢進症
- ネフローゼ症候群
- 肥満
- 肝・胆嚢疾患
- 薬剤性

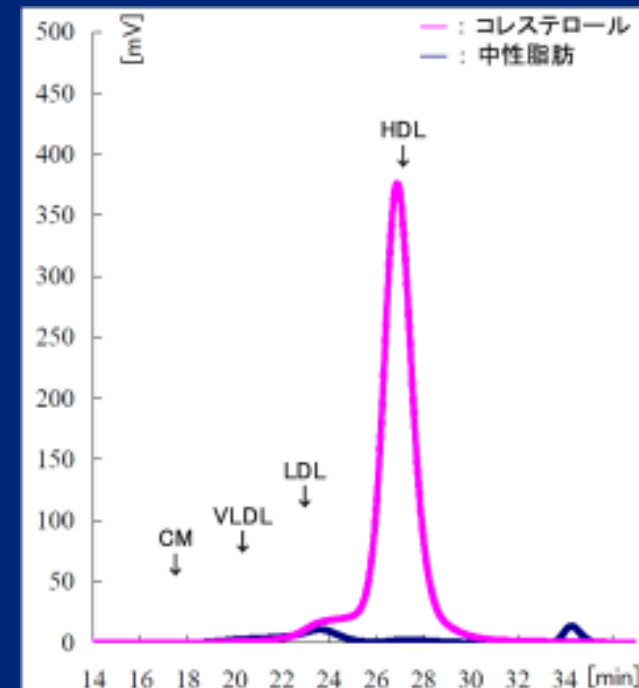
# リポ蛋白解析 (Lipo TEST)

高脂血症をリポ蛋白成分のバランスにより分類

波形のパターンによって適切な治療法が提案される

- ✓ 基礎疾患の治療
- ✓ 食事療法
- ✓ 薬剤療法

標準波形



# 症例1

犬種：ミニチュア・シュナウザー

性別：避妊雌

年齢：8歳

体重：8.46kg (BCS：4)

- 食欲低下を主訴に来院
- 血液検査にて高脂血症が認められたため  
Lipo TESTを行った

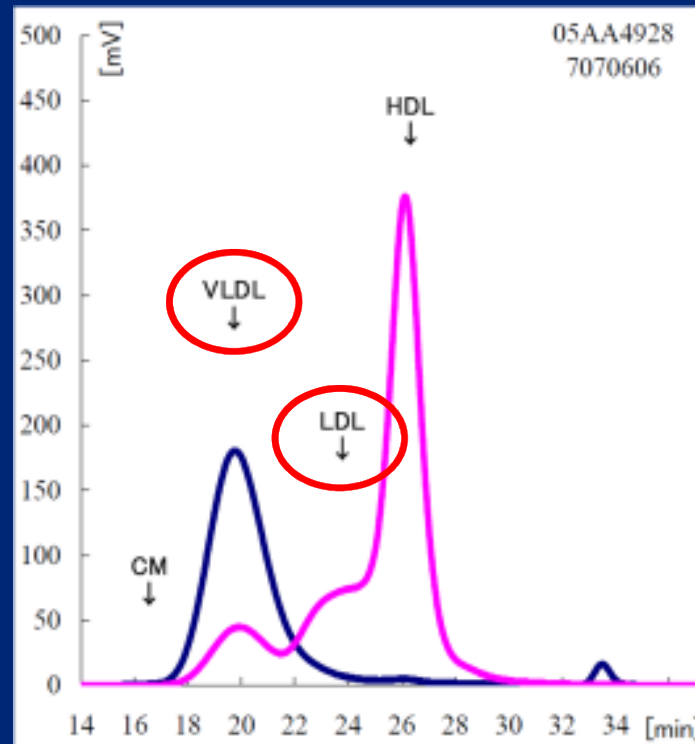
ALT : **151** (U/l)

ALP : **89** (U/l)

T-Cho : **335** (mg/dl)

TG : **427** (mg/dl)

# 症例1



症例1 測定結果

- 総コレステロール、総中性脂肪、各VLDL、LDL分画が高値
- 総中性脂肪、VLDLが特に高値であった

# 病歴

食欲低下で来院  
高脂血症のためLipo TESTを行う



膀胱結石摘出手術  
(シュウ酸カルシウム)



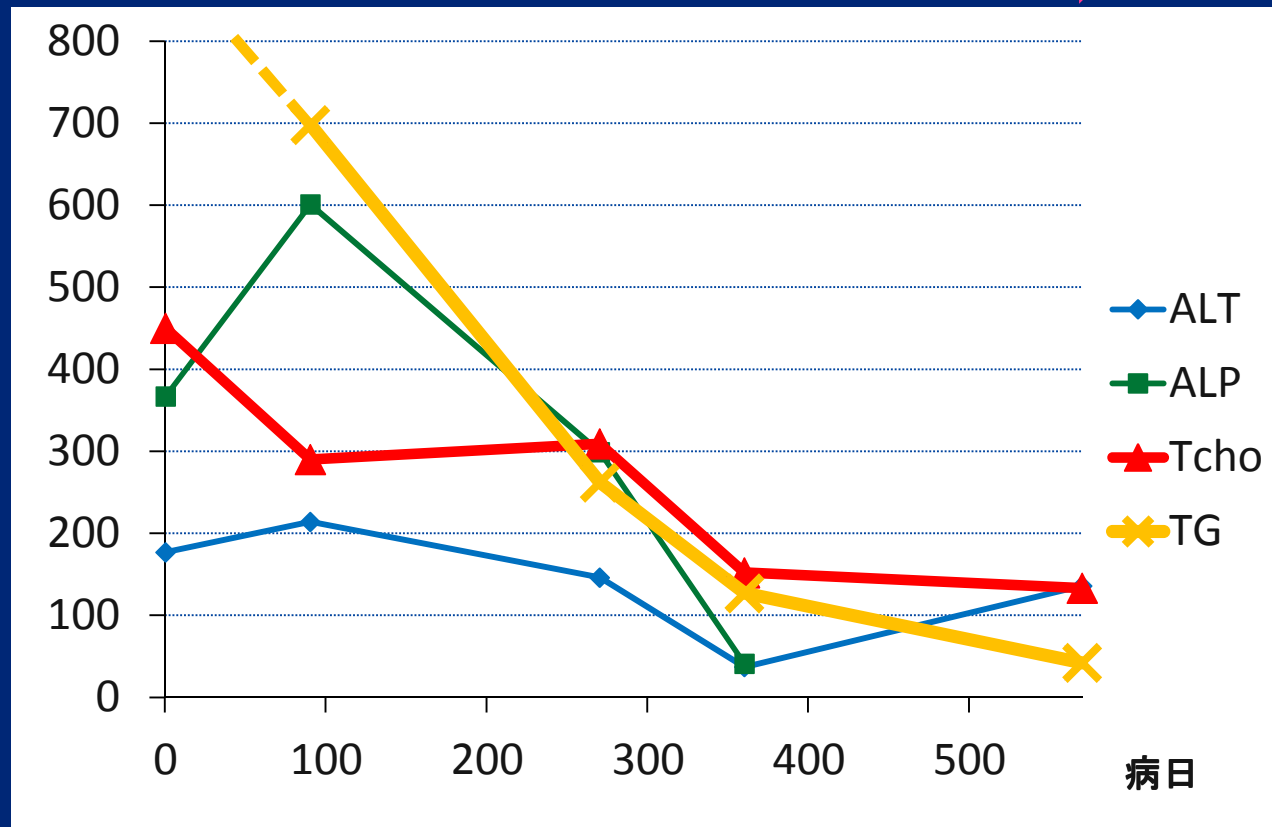
高脂血症、胆泥貯留が認められる  
高脂血症の治療再開



# 経過

pHコントロール

CRD-1,2



リポクリン 10mg/kg BID



スパカール 5mg/kg BID

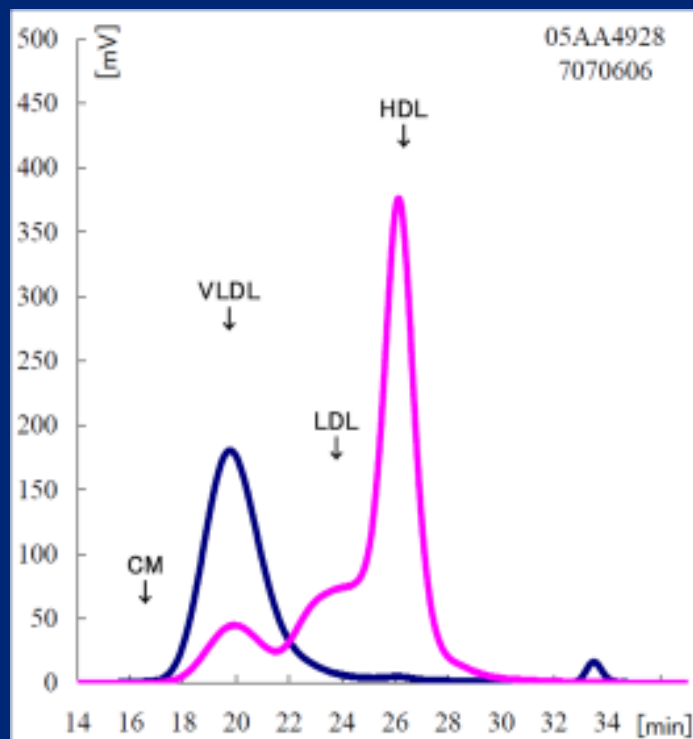


ウルソ 10mg/kg BID



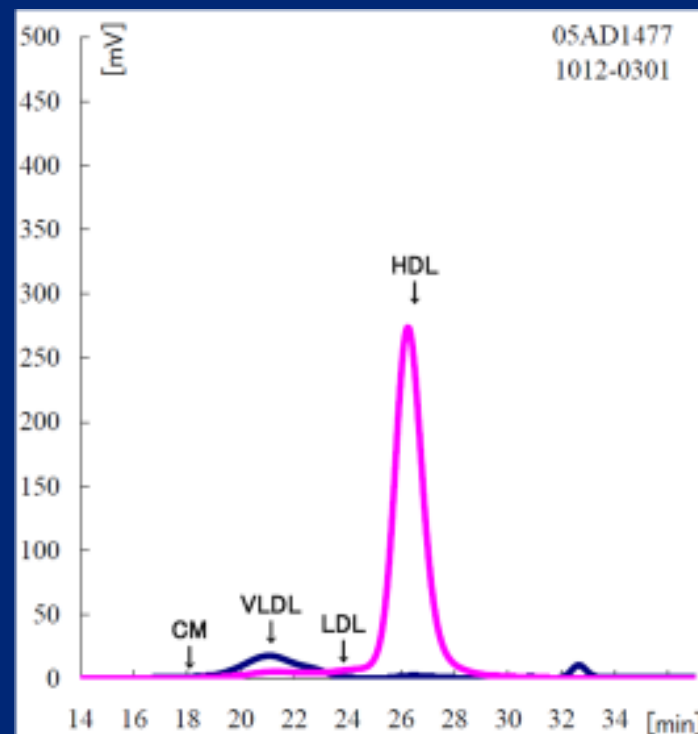
# Lipo TESTの変化

治療前



2007年7月

治療後



2010年12月



## 症例2

犬種：ミニチュア・シュナウザー

性別：雌

年齢：10歳

体重：6.95kg (BCS：3)

- 血液検査にて高脂血症が認められたため  
Lipo TESTを行った

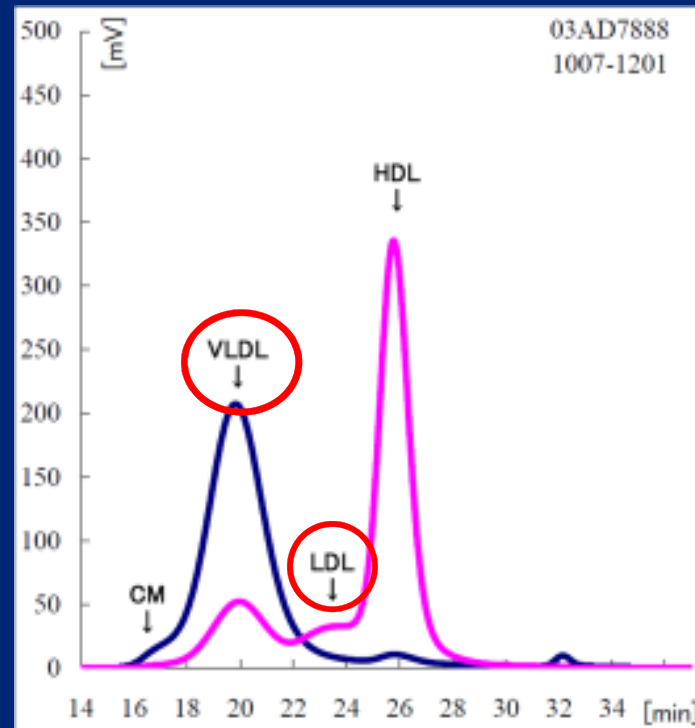
ALT：57 (U/l)

ALP：229 (U/l)

T-Cho：423 (mg/dl)

TG：>500 (mg/dl)

# 症例2



症例2 測定結果(1回目)

- 総コレステロール値、総中性脂肪値、各VLDL、LDL、HDL分画が高値を示した。

# 経過

高脂血症：1回目のLipo TEST



結晶尿(シュウ酸カルシウム結晶)



重度の高脂血症が認められる

高脂血症の治療再開

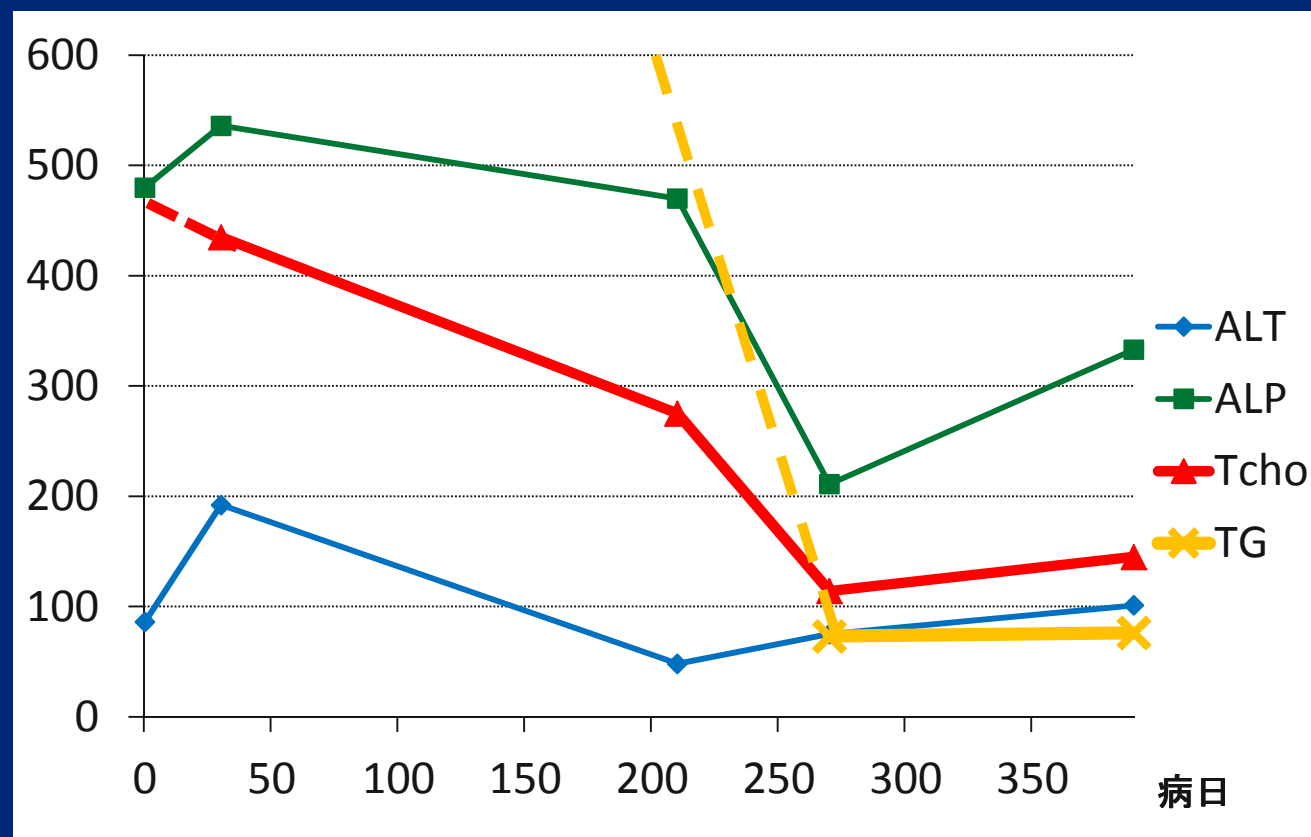
クリノフィブラート  
10mg/kg



pHコントロール



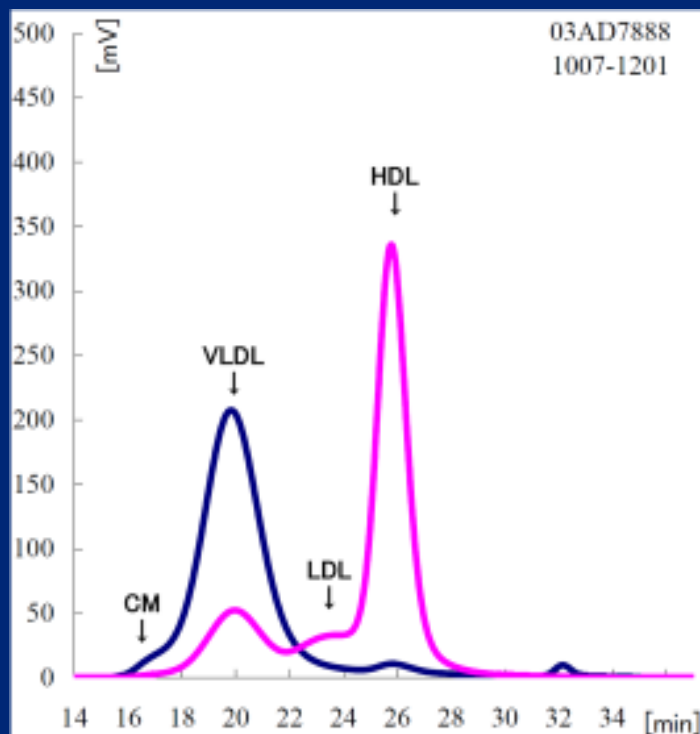
# 経過



リポクリン 7.5~10mg/kg BID

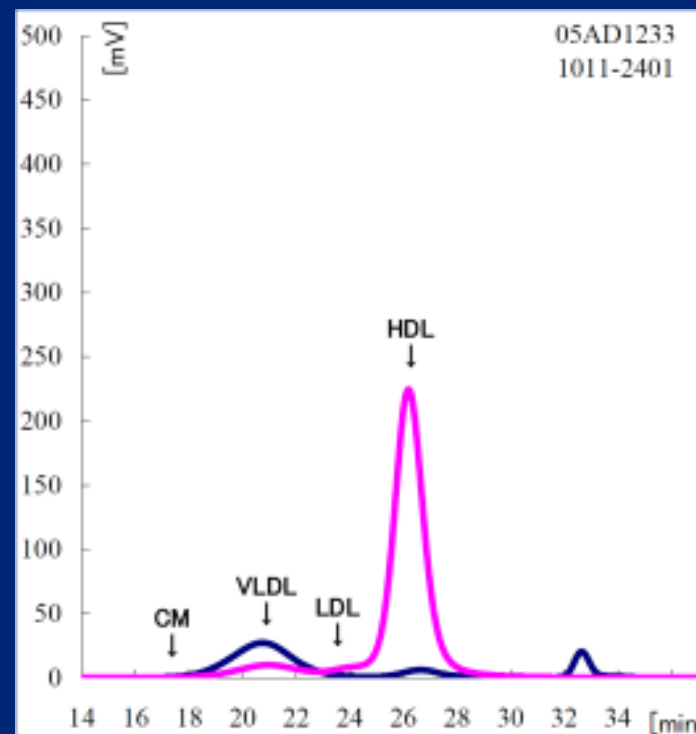
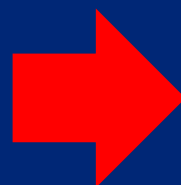
ウルソ 10mg/kg BID

# Lipo TESTの変化



症例2 測定結果(2回目)

食事を  
CRDに変更



症例2 測定結果(3回目)

# 考察

■薬剤のみの高脂血症コントロールは充分でなかった

⇒低脂肪食給与後から、コントロールが可能となった  
特に、もっとも低脂肪である製品に変更後、良好に推移

製品名	脂肪 (g/100kcal)	犬10kgの 1日脂肪摂取量(g)
pHコントロール	4.3	30.57
消化器サポート (低脂肪)	1.4	14.3
CRD-1	1.4	8.1
CRD-2	1.5	8.68

# 考察

- 低脂肪食の選択の重要性

- 高脂血症と尿石症の併発

⇒ 尿石症の療法食ではなく、低脂肪食の給与で  
管理が可能な症例がある